

Science of Science 研究の傾向から見る天文学分野の特徴

○玉澤 春史^{1,2} (1.京都大学 2.京都市立芸術大学)

大量に生産される学術データや論文など研究資源そのものを対象データとして分析し科学そのものを実証的に研究する分野であるScience of Scienceは、近年の学術政策へのアプローチも含め活発化している。分野ごとの差異も報告されており、特にプレプリントの扱いについては計量的にも天文学の特徴的な振る舞いが報告されている (Miura & Sakata 2025)。日本国内の多分野の研究者に対する調査 (池内・林2026) や天文学会会員向けに行ったアンケート調査でも他分野とのプレプリントに対する認識の差が表れている (玉澤・井出, 天文学会2025年春季年会報告)。プレプリントの利用の歴史と、その使い方という分野としての文化の特徴が計量的にも定性的にも差異として表れていると推察される。プレプリントの引用の特徴について、天文学のビッグサイエンス性、プレプリントの利用方法の特徴など差異の解釈を精密化するためには計量的・定性的の両者の研究を進める必要がある。